

◆ 荒川都税事務所長賞 ◆

若者と税金

荒川区立第七中学校 3年 石墨 龍磨

税金は私たちの生活にかかせないものです。例えば道路や学校、病院など、普段の生活で当たり前に使っているものやサービスは、税金のおかげで成り立っています。私たち学生にとって、税金は少し遠い存在かもしれません。まだ働いていないので、直接税金を払うことがないからです。しかし、税金について知っておくことは重要だと思います。将来、大人になって働くときにこの知識が役立つからです。

私が税金の大切さを感じたのは、去年の学校の行事で地域の清掃活動に参加したときでした。そのとき、私たちが清掃した道は、とてもきれいで気持ち良かったです。後から知ったのですが、この道がきれいに保たれているのは、税金が使われているおかげでした。新しい街灯が設置されたり、道路の清掃が行われたりするのにも税金のおかげだと知り、税金の大切さを改めて感じました。

また、学校でも税金は大きな役割を果たしています。たとえば、教科書やパソコン、図書館の本など、私たちが勉強で使うものの多くは税金でまかなわれています。学校の建物や設備、先生たちの給料も税金のおかげです。これらがあるおかげで、私たちは良い環境で勉強でき、必要な教材を使うことができます。図書館で調べ物をするとき、その資料が手に入るのも税金のおかげだと思います。こうして考えると、税金が私たちの学びにどれだけ貢献しているかが分かります。

税金は、また、社会全体が平等に生活できるようにするためにも使われています。病気やけがをしたときに医療費が高くて困ることがありますが、税金がその一部をカバーしてくれるので、多くの人が助かっています。私の家族も、医療費が高くなったとき、税金で補助されて助かりました。この経験から、税金が困っている人たちを支える大切な役割を果たしていると実感しました。

加えて、税金は公共の施設やインフラの整備にも使われています。新しい道路の建設や古い道路の修理、公園の整備なども税金で行われています。私の住んでいる地域でも、最近新しい道路ができたおかげで通学が便利になりました。税金が使われていることで、私たちの生活がより良くなり、便利な環境が整えられていると感じます。

将来、大人になって働くようになると、税金を支払う立場になります。そのとき、税金がどのように使われているかを理解し、自分の意見を持つことが大切だと思います。税金の使い道に関心を持つことで、より良い社会を作るための準備ができると感じました。税金について考えることは、私たち自身や社会の未来をより良くするための第一歩だと思います。このように税金について理解し、意識を持つことは、将来私たちが社会に出たときに、より良い社会づくりに貢献するための重要な準備だと思います。